

少子高齢化、人口減少の中で今後伸びる食品カテゴリーは何か
コーホート分析、年齢・体験効果分析により推計する

食品・飲料カテゴリー コーホート分析・将来需要予測 企画書

2021.6



株式会社ジェーディーエス

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-11 龍文堂ビル4F
TEL 03-3358-1601 FAX 03-3358-8389
URL: <https://jds.ne.jp/> info@jds.ne.jp

はじめに

今後の生活者へのアプローチを考える上で、避けて通れないのは、少子高齢化傾向の人口動態です。

但し、人口が減り高齢となった生活者が多くなるということだけでないはずです。

今の高齢者は昔の同年齢と比べて健康年齢が上がっており、肉体のみならず、考え方も若々しい高齢者が増えています。

一方、生活者の意識や行動パターンは、バブル時代やリーマンショック、東日本大震災と現在のコロナ禍といったその時代の出来事や“雰囲気”からも大きな影響を受けていると考えられます。

加えて対象ターゲットを考えるときに彼らがどのような時代背景のもとに育って来たかという生まれ時期の違い、世代の特徴などを考慮すべきです。

これらの年齢、時代、世代の要素から物事や消費行動を捉えるアプローチとしてコーホート分析があります。

このレポートでは様々に食に関わるカテゴリーについてコーホート分析を行いそれぞれのカテゴリーに影響している3要素の構造を見ることによりターゲットに対するアプローチ方法を検討する材料とします。

また、今後の市場を検討する上での予測推計を「**年齢・体験効果分析モデル**」※により行い、将来に亘っての当該カテゴリーを検討する上で重要となる需要予測データ提供を行います。

※生活者の意識や行動パターンは、出生時や幼児期など一時期の体験だけでなく、人生の様々な時期の体験の蓄積によって決まるというアイデアに基づいた統計モデルです。このモデルを使用することにより、生活者の意識や行動パターン、(食べ物に対する嗜好など)が「どの時代の出来事に影響されたか」「その出来事は何歳から何歳の年齢層に影響したか」そして「その影響は何年持続するのか」を推計し予測する分析モデルです。

使用データ

JNNデ-アバンク 調査概要

(1)調査対象 男女13歳～69歳

(2)調査地域 北海道から沖縄に至る全国の都市部

(一部郡部も含み、全国人口の4分の3をカバー)を母集団とし、調査地域には以下の主要都市が含まれる。

札幌、青森、盛岡、仙台、山形、福島、さいたま、千葉、東京、横浜、川崎、新潟、富山、金沢、甲府、長野静岡、名古屋、大津、京都、大阪、神戸、奈良、米子、岡山、広島、周南、松山、高知、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

(3)標本抽出法 全国三段抽出(エリア・サンプリング)

(4)調査方法 配布留置回収法

(5)標本数 約7,400(有効標本数)

(6)調査時期 毎年11月

	調査時期	標本数
第1回調査	1971年12月	2,961
第2回調査	1972年7月	3,047
第3回調査	1973年3月	3,052
第4回調査	1973年9月	3,036
第5回調査	1974年5月	3,055
第6回調査	1974年11月	3,044
第7回調査	1975年5月	3,096
第8回調査	1975年10月	3,096
第9回調査	1976年5月	3,076
第10回調査	1976年10月	3,087
第11回調査	1977年5月	3,078
第12回調査	1977年10月	3,090
第13回調査	1978年5月	3,099
第14回調査	1978年10月	3,100
第15回調査	1979年5月	3,106
第16回調査	1979年10月	3,103
第17回調査	1980年5月	3,103
第18回調査	1980年10月	3,106
第19回調査	1981年5月	3,109
第20回調査	1981年10月	3,104

	調査時期	標本数
第21回調査	1982年5月	3,126
第22回調査	1982年10月	3,113
第23回調査	1983年5月	3,073
第24回調査	1983年10月	3,078
第25回調査	1984年5月	3,090
第26回調査	1984年10月	3,081
第27回調査	1985年5月	3,097
第28回調査	1985年10月	3,104
第29回調査	1986年5月	3,095
第30回調査	1986年10月	3,092
第31回調査	1987年5月	3,098
第32回調査	1987年10月	3,103
第33回調査	1988年5月	3,107
第34回調査	1988年10月	3,101
第35回調査	1989年5月	3,089
第36回調査	1989年10月	3,122
第37回調査	1990年5月	3,111
第38回調査	1990年10月	3,140
第39回調査	1991年5月	3,143
第40回調査	1991年10月	3,140

	調査時期	標本数
第41回調査	1992年5月	3,136
第42回調査	1992年10月	3,143
第43回調査	1993年5月	3,541
第44回調査	1993年10月	3,563
第45回調査	1994年5月	3,562
第46回調査	1994年10月	3,550
第47回調査	1995年5月	3,562
第48回調査	1995年10月	3,570
第49回調査	1996年5月	3,560
第50回調査	1996年10月	3,554
第51回調査	1997年5月	3,569
第52回調査	1997年10月	3,565
第53回調査	1998年5月	3,566
第54回調査	1998年10月	3,583
第55回調査	1999年5月	3,560
第56回調査	1999年10月	3,570
第57回調査	2000年11月	7,408
第58回調査	2001年11月	7,400
第59回調査	2002年11月	7,412
第60回調査	2003年11月	7,405

	調査時期	標本数
第61回調査	2004年11月	7,407
第62回調査	2005年11月	7,422
第63回調査	2006年11月	7,429
第64回調査	2007年11月	7,411
第65回調査	2008年11月	7,416
第66回調査	2009年11月	7,422
第67回調査	2010年11月	7,417
第68回調査	2011年11月	7,420
第69回調査	2012年11月	7,404
第70回調査	2013年11月	7,407
第71回調査	2014年11月	7,408
第72回調査	2015年11月	7,407
第73回調査	2016年11月	7,410
第74回調査	2017年11月	7,397
第75回調査	2018年11月	7,397
第76回調査	2019年11月	7,389
第77回調査	2020年11月	7,400

●1995年から2020年における5年毎の6時点 25年の時系列データを用いてコーホート分析、年齢・体験効果分析の結果データレポートを提供いたします。

使用データ

総合嗜好調査

■調査設計

- 調査対象： 満13歳～74歳 一般男女
- 調査地域・サンプル数： 約1,940（東京地区 約1,280、阪神地区 約660）

東京都(区・市・町村の全域、但し島部を除く)

大阪市、豊中市、池田市、箕面市、吹田市、茨木市、高槻市、枚方市、寝屋川市、摂津市、門真市、守口市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市、藤井寺市、松原市、羽曳野市、富田林市、堺市、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、川西市、伊丹市、尼崎市

- 標本抽出： 2段抽出(エリアサンプリング)
- 調査方法： 配布留置自記式法
- 調査時期： 毎年10月下旬～11月上旬

●使用データは 東京地区 約1,280サンプルを分析データとして使用

●2005年から2020年における5年毎の4時点 15年の時系列データを用いてコーホート分析、年齢・体験効果分析の結果データレポートを提供いたします。

回	実施時期	有効回収数		回	実施時期	有効回収数	
		東 京	阪 神			東 京	阪 神
1	1975年 4月下旬	505	—	24	1998年10月下旬	1005	511
2	1976年 7月中旬	1020	—	25	1999年10月下旬	1003	502
3	1977年10月中旬	1296	—	26	2000年10月下旬	1004	504
4	1978年10月中旬	1264	—	27	2001年10月下旬	1003	502
5	1979年10月中旬	1034	506	28	2002年10月下旬	1004	510
6	1980年10月下旬	1002	502	29	2003年10月下旬	1005	502
7	1981年10月中旬	1017	510	30	2004年10月下旬	1009	505
8	1982年10月中旬	1015	516	31	2005年10月下旬	1201	604
9	1983年10月中旬	1004	536	32	2006年10月下旬	1210	609
10	1984年10月中旬	1003	504	33	2007年10月下旬	1210	604
11	1985年10月下旬	1015	511	34	2008年10月下旬	1207	609
12	1986年10月下旬	1010	502	35	2009年10月下旬	1209	603
13	1987年10月下旬	1010	514	36	2010年10月下旬	1204	604
14	1988年10月下旬	1014	514	37	2011年10月下旬	1204	604
15	1989年10月下旬	1006	526	38	2012年10月下旬	1202	602
16	1990年10月下旬	1002	508	39	2013年10月下旬	1203	602
17	1991年10月下旬	1006	504	40	2014年10月下旬	1286	664
18	1992年10月下旬	1003	513	41	2015年10月下旬	1288	664
19	1993年10月下旬	1003	505	42	2016年10月下旬	1290	668
20	1994年10月下旬	1004	503	43	2017年10月下旬	1282	662
21	1995年10月下旬	1003	509	44	2018年10月下旬	1281	662
22	1996年10月下旬	1001	510	45	2019年10月下旬	1285	662
23	1997年10月下旬	1006	503	46	2020年10月下旬	1284	662

JNNデータバンク 分析対象カテゴリー

全109カテゴリー

ふだん食べたり、使っているもの

1 アメ、キャンディー、ドロップ	26 果物類
2 あられ、せんべい	27 乾麺（うどん、そば、そうめんなど）
3 インスタント味噌汁	28 魚肉缶詰（ツナ以外）
4 お茶づけの素	29 市販のつけもの
5 カップ麺類（カップヌードルなど）	30 即席カレー
6 ケチャップ	31 即席シチュー
7 ジャム	32 即席麺類（インスタントラーメン、そばなど）
8 スープの素（スープ類、インスタントスープ）	33 納豆
9 スナック類	34 氷菓（アイスキャンディーなど）
10 ゼリー	35 洋菓子
11 チーズ	36 冷凍加工食品
12 チューインガム	37 和菓子
13 チョコレート	38 しおから
14 ねりもの（かまぼこ、ちくわなど）	39 ハンバーガー
15 パスタ	40 ホットドッグ
16 バター	
17 ハム、ソーセージ	
18 ビスケット、クラッカー	
19 ふりかけ（おむすび用を含む）	
20 プリン	
21 マーガリン	
22 マヨネーズ	
23 ヨーグルト	
24 レトルト食品	
25 果物缶詰	

好きな食べ物

1 さしみ	26 中華そば（ラーメン、五目そば等）
2 すきやき、しゃぶしゃぶ	27 すし（にぎり、まきずし、ちらし等）
3 なべもの、おでん	
4 野菜の煮物	28* そば
5 やき魚	29* うどん
6 煮魚	30* そうめん、ひやむぎ
7 やき肉料理	31* ステーキ、ローストビーフ
8 ハンバーグ	32* 冷し中華
9 トンカツ、くしカツ	
10 ローストチキン、フライドチキン	
11 魚・貝フライ	
12 コロッケ	
13 カレーライス、ハヤシライス	
14 チキンライス、ピラフ、チャーハン	
15 スパゲティ・パスタ	
16 グラタン	
17 ピザ	
18 サンドウィッチ、ホットドッグ、ハンバーガー	
19 野菜サラダ	
20 やきそば	
21 ぎょうざ	
22 天ぷら	
23 かばやき（うなぎ等）	
24 丼もの（天丼、かつ丼、親子丼等）	
25 シチュー類（ビーフシチュー、クリームシチュー等）	

ふだん飲むもの

1 100%果汁ジュース	26 薬用酒（・命酒・陶々酒など）
2 インスタントコーヒー	27 紅茶（ティーバッグを含む）
3 ウイスキー	
4 ウーロン茶	28* 梅酒
5 コーヒー牛乳	29* 白ワイン
6 コーラ	30* 赤ワイン
7 ココア	31* 乙類焼酎（しょうちゅう）
8 サイダー	32* 甲類焼酎（しょうちゅう）
9 ジン・ウォッカ	33* 青汁
10 スポーツドリンク	34* 低脂乳
11 チューハイ・梅ハイ	35* 杜仲茶・どくだみ茶・甜茶
12 トマト・トジュース	36* 発泡酒
13 ドリンクヨーグルト	37* 新ジャンルのビール（金麦など）
14 ハーブティー	
15 ビール	
16 ブランデー	
17 ミネラル・ナチュラルウォーター	
18 レギュラーコーヒー	
19 酢・健康酢	
20 清酒	
21 豆乳	
22 日・茶	
23 乳酸菌飲料（ヤクルトなど）	
24 濃縮乳酸飲料（カルピスなど）	
25 野菜ジュース	

※ 28そば～32冷やし中華は、2000年からのデータを用います。

※ 28梅酒～32赤ワインは、2000年からのデータを33青汁～37新ジャンルのビール（金麦など）は、2005年からのデータを用います。

総合嗜好調査 分析対象カテゴリー

全130カテゴリー

好きな料理

1 和風家庭料理
2 洋風家庭料理
3 中華風家庭料理
4 日本料理
5 フランス料理
6 イタリア料理
7 中華料理
8 エスニック料理
9 朝鮮・韓国料理
10 その他
11 その他
12 その他
13 その他
14 その他
15 その他
16 その他
17 その他
18 その他
19 その他
20 その他

好きなごはんもの・めん類・パンなど

1 にぎりずし	21 ホットドッグ
2 のりまき	22 ハンバーガー
3 ちらしずし	23 五目ずし・ませずし
4 天丼	24 おしずし・大阪ずし
5 かつ丼	25 ピラフ
6 親子丼	26 焼めし(チャーハン)
7 牛丼	27 おかゆ・そうすい
8 中華丼	28 ひやむぎ・そうめん
9 釜めし	29 手まきずし
10 赤飯	30 中華そば・ラーメン
11 たきこみごはん・かやくごはん	31 冷し中華・つけ麺
12 カレーライス	32 食パン・イギリスパン
13 お茶漬	33 いなりずし(しのだずし)
14 日本そば	34 ハヤシライス・ハッシュドビーフ
15 うどん	35 お好み焼き・たご焼き
16 焼きそば	36 おむすび・おにぎり
17 グラタン	37 スパゲティ・パスタ
18 フランスパン	
19 クロワッサン	
20 サンドウィッチ	

好きな料理・おかず

1 赤身の刺身	26 とんかつ・串かつ	51 もつ鍋
2 白身の刺身	27 ローストチキン	52 回鍋肉
3 ふぐ刺	28 エビフライ	53 キムチ鍋・チゲ鍋
4 たたき	29 カキフライ	54 ちゃんご鍋
5 うなぎ蒲焼	30 魚フライ	55 豆乳鍋
6 焼魚	31 コロッケ	56 ポークソテー・生姜焼き
7 煮魚	32 オムレツ	57 オニオンスープ・コンソメスープ
8 天ぷら	33 目玉焼	58 わかめスープ
9 すきやき	34 たまご焼	59 ワンタンスープ
10 しゃぶしゃぶ	35 春巻	60 ジンギスカン
11 寄せ鍋	36 野菜サラダ	
12 水たき	37 ギョウザ	
13 おでん	38 シューマイ	
14 焼鳥	39 八宝菜	
15 茶わんむし	40 すぶた	
16 野菜煮物	41 麻婆豆腐	
17 おひたし	42 ひややっこ・湯どうぶ	
18 酢のもの	43 とん汁	
19 めた・あえもの	44 ロールキャベツ	
20 みそ汁・赤だし	45 ビーフシチュー	
21 すまし	46 クリームシチュー	
22 ビーフステーキ	47 鉄板焼	
23 ローストビーフ	48 細切り牛肉のビーマンあえ	
24 ハンバーグ	49 冷麺	
25 焼肉料理	50 エビからみいため(チリソース)	

好きな冷凍食品

1 エビフライ
2 その他の魚介類フライ
3 クリームコロッケ
4 ハンバーグ
5 肉まん・あんまん
6 グラタン
7 フライドポテト
8 ポテトコロッケ
9 シューマイ
10 ミートボール
11 ギョーザ
12 春巻
13 ピラフ・チャーハン
14 焼きおにぎり
15 米飯・赤飯
16 焼鳥・つくね
17 お好み焼
18 たご焼
19 たい焼
20 枝豆
21 冷凍果実(ブルーベリーなど)
22 スパゲティ・パスタ
23 うどん
24 シーフードミックス

※ 東京データ

使用分析モデル

●コーホート分析

■採用するモデル

標準コーホート表による比率データの一般化逆行列を用いたパラメータ推定

$$y = X\beta + e = [X_A X_P X_C]\beta + e$$

- ・標準コーホート表
年齢階級(Age)の幅と、時代(調査年)(Period)の間隔(N年刻み)が等間隔で一致する表。
- ・比率データ
該当者÷調査数
- ・デザイン行列X
ダミー変数を用いて適切に表現
- ・ β の推定
 β の推定には一般化逆行列を用いる

使用分析モデル

●年齢・体験効果

The oldest age-group who are affected by the environment

Duration of effects of exposure to the environment take effect

$$\log \lambda_{ij} = \mu + \alpha_i + \sum_{k=j-(i-L)+1}^{\min(j-(i-U)+1, j-(i-L)+1+D)} \xi_k$$

A class of the extended Age-environment models



Effective experience analysis

The youngest age-group who are affected by the environment

Nobutane Hanayama
Shobi University, Kawagoe, Japan

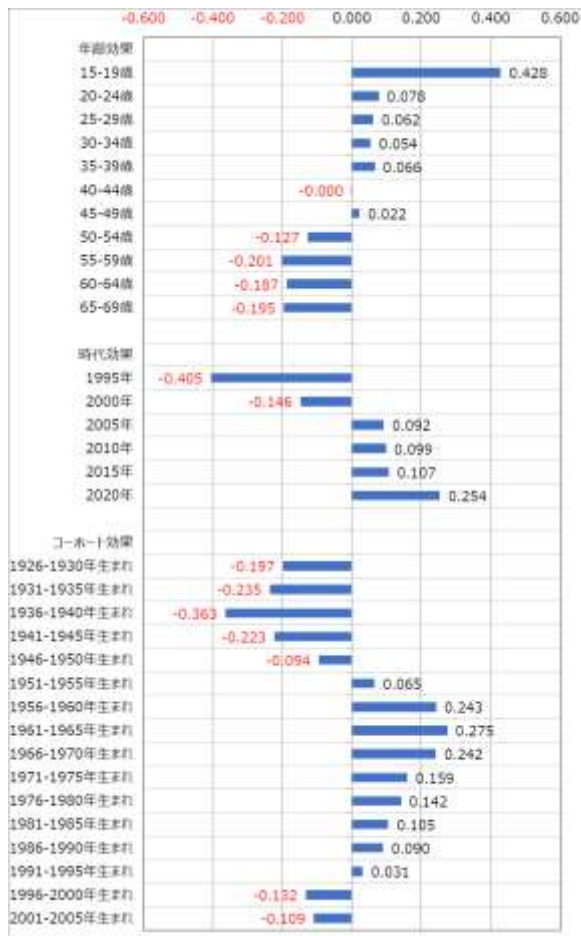
●入力データ（標準コーホート表）

該当人数		1	2	3	4	5	6	調査人数		1	2	3	4	5	6
		Y1995	Y2000	Y2005	Y2010	Y2015	Y2020			Y1995	Y2000	Y2005	Y2010	Y2015	Y2020
1	15-19	272	462	392	374	291	302	1	15-19	390	671	561	503	471	491
2	20-24	233	469	430	379	370	382	2	20-24	375	713	667	569	598	610
3	25-29	187	505	466	390	317	330	3	25-29	297	824	737	625	544	517
4	30-34	164	389	452	390	328	353	4	30-34	334	667	756	637	592	567
5	35-39	149	308	388	507	481	445	5	35-39	343	684	729	900	847	788
6	40-44	128	284	315	367	437	415	6	40-44	371	700	656	696	812	744
7	45-49	91	229	268	316	388	504	7	45-49	352	685	624	629	701	831
8	50-54	78	204	235	292	288	385	8	50-54	308	690	684	651	633	674
9	55-59	51	129	231	265	271	334	9	55-59	272	591	724	678	619	673
10	60-64	45	103	174	227	270	297	10	60-64	250	525	590	706	645	588
11	65-69	23	95	107	210	252	336	11	65-69	160	468	521	650	754	723

結果サンプル [チョコレート]

ふだん食べたり使っているもの (JNNデータバンク)

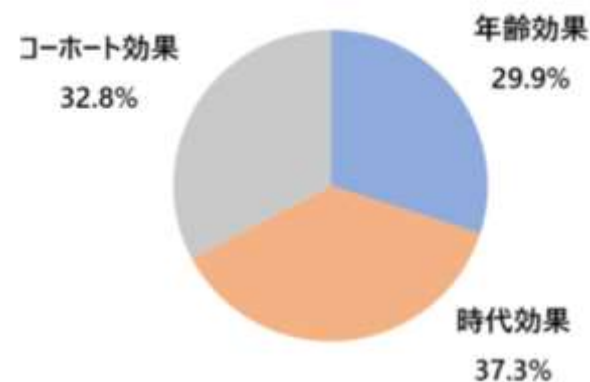
コーホート分析 [チョコレート]



年齢効果	
15-19歳	0.428
20-24歳	0.078
25-29歳	0.062
30-34歳	0.054
35-39歳	0.066
40-44歳	-0.000
45-49歳	0.022
50-54歳	-0.127
55-59歳	-0.201
60-64歳	-0.187
65-69歳	-0.195
時代効果	
1995年	-0.405
2000年	-0.146
2005年	0.092
2010年	0.099
2015年	0.107
2020年	0.254
コーホート効果	
1926-1930年生まれ	-0.197
1931-1935年生まれ	-0.235
1936-1940年生まれ	-0.363
1941-1945年生まれ	-0.223
1946-1950年生まれ	-0.094
1951-1955年生まれ	0.065
1956-1960年生まれ	0.243
1961-1965年生まれ	0.275
1966-1970年生まれ	0.242
1971-1975年生まれ	0.159
1976-1980年生まれ	0.142
1981-1985年生まれ	0.105
1986-1990年生まれ	0.090
1991-1995年生まれ	0.031
1996-2000年生まれ	-0.132
2001-2005年生まれ	-0.109

要因ウエイト

要因	標準偏差	構成比
年齢効果	0.173	29.9%
時代効果	0.216	37.3%
コーホート効果	0.190	32.8%
合計	0.579	100.0%



2021年年齢
95-01
90-86
95-81
80-76
75-71
70-66
65-61
60-56
55-51
50-46
45-41
40-36
35-31
30-26
25-21
20-16

結果サンプル [チョコレート]

年齢・体験効果分析

総平均

	推定値	+2σ	-2σ
総平均	-0.49	-0.36	-0.61

年齢効果

	年齢	年齢効果の推定値	+2σ	-2σ
1	15-19	0.42	0.53	0.32
2	20-24	0.04	0.13	-0.05
3	25-29	-0.00	0.08	-0.08
4	30-34	0.00	0.08	-0.07
5	35-39	0.01	0.07	-0.06
6	40-44	-0.02	0.04	-0.09
7	45-49	0.03	0.10	-0.03
8	50-54	-0.10	-0.03	-0.18
9	55-59	-0.13	-0.05	-0.22
10	60-64	-0.09	0.00	-0.18
11	65-69	-0.16	-0.07	-0.26

- (A) 年齢階級幅

5

 歳
 (B) 影響を受ける最低年齢

0

 歳
 (C) 表での最低年齢階級の年齢

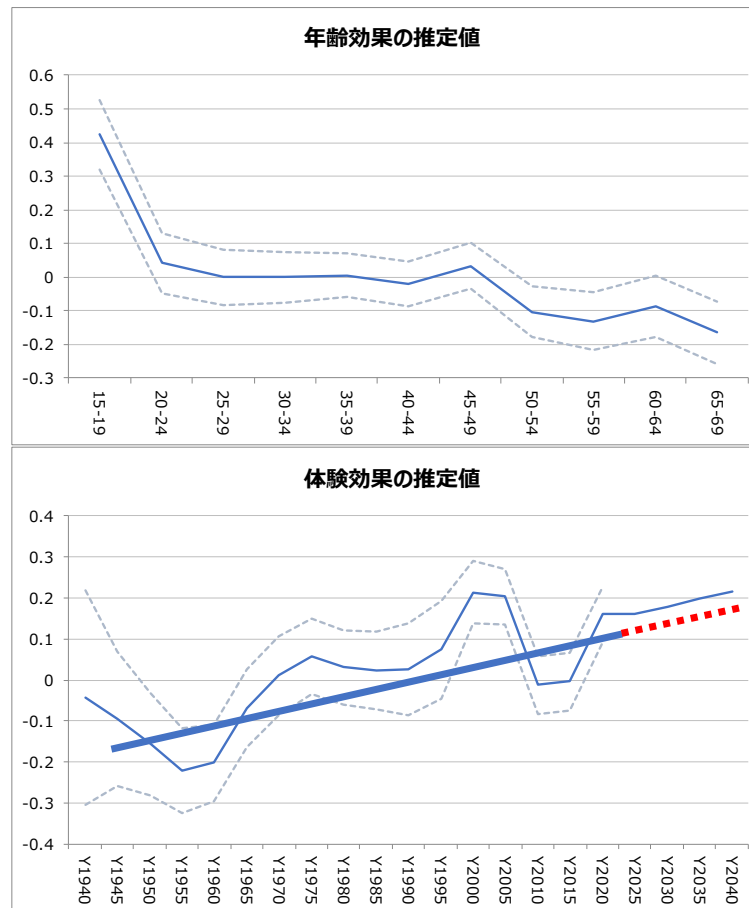
15

 歳

体験効果

	時代	体験効果の推定値	+2σ	-2σ
1	Y1940	-0.04	0.22	-0.30
2	Y1945	-0.09	0.07	-0.26
3	Y1950	-0.16	-0.03	-0.28
4	Y1955	-0.22	-0.12	-0.32
5	Y1960	-0.20	-0.11	-0.29
6	Y1965	-0.07	0.03	-0.16
7	Y1970	0.01	0.11	-0.09
8	Y1975	0.06	0.15	-0.03
9	Y1980	0.03	0.12	-0.06
10	Y1985	0.02	0.12	-0.07
11	Y1990	0.03	0.14	-0.09
12	Y1995	0.07	0.19	-0.05
13	Y2000	0.21	0.29	0.14
14	Y2005	0.20	0.27	0.14
15	Y2010	-0.01	0.06	-0.08
16	Y2015	-0.00	0.07	-0.07
17	Y2020	0.16	0.23	0.09
18	Y2025	0.16		
19	Y2030	0.18		
20	Y2035	0.20		
21	Y2040	0.22		

- ▶ (1) 体験の影響を受ける最低年齢階級は「5-9」歳
- ▶ (2) 体験の影響を受ける最高年齢階級は「65-69」歳
- ▶ (3) 体験の効果は「55-59年」持続する



結果サンプル [チョコレート]

年齢体験効果分析推計値より将来需要データシート

【チョコレート】

項目： ふだん食べたり、使っているもの

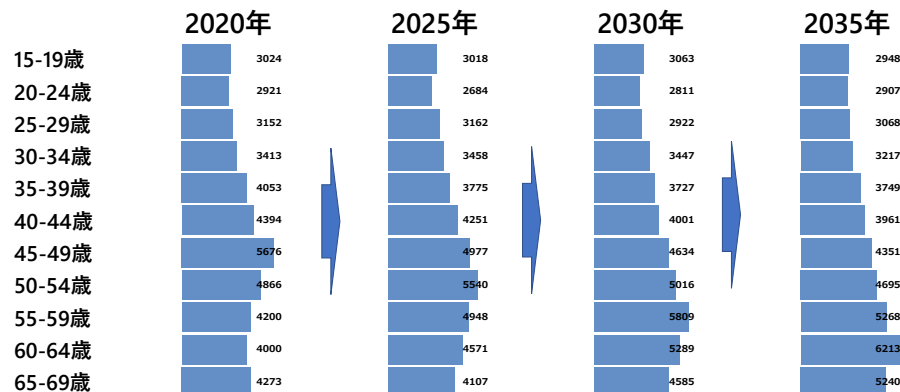
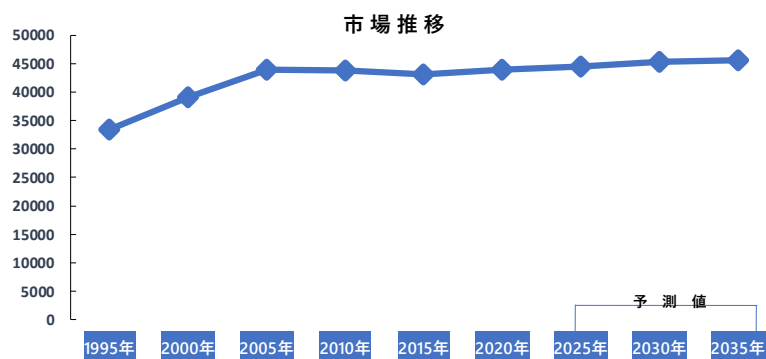
市場ボリューム (千人)

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
15-19歳	4377	4047	3972	3719	3201	3024	3018	3063	2948
20-24歳	3895	4083	4084	3279	2852	2921	2684	2811	2907
25-29歳	3835	4584	4185	3713	3422	3152	3162	2922	3068
30-34歳	3544	4284	5040	4587	3611	3413	3458	3447	3217
35-39歳	3632	3851	4801	5020	4253	4053	3775	3727	3749
40-44歳	3223	3662	4365	4582	5263	4394	4251	4001	3961
45-49歳	3287	4003	3964	4490	4552	5676	4977	4634	4351
50-54歳	2552	3608	3743	3690	4171	4866	5540	5016	4695
55-59歳	1787	2606	4209	3784	3672	4200	4948	5809	5268
60-64歳	1834	2229	3184	3954	3739	4000	4571	5289	6213
65-69歳	1451	2099	2406	2966	4297	4273	4107	4585	5240
計	33416	39057	43952	43783	43032	43973	44489	45304	45617

予測反応値推計

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
15-19	51.1	53.9	60.2	61.0	52.9	53.6	56.4	60.8	61.7
20-24	39.3	48.4	55.3	50.3	46.8	47.4	46.6	51.4	56.4
25-29	43.6	46.7	50.3	50.2	52.4	51.1	50.6	50.0	55.2
30-34	43.6	48.7	51.5	54.5	48.8	52.2	55.9	55.1	54.9
35-39	46.4	47.4	54.7	50.9	50.5	54.9	57.9	60.4	60.0
40-44	35.8	46.9	53.8	52.0	53.4	52.4	57.9	61.6	64.4
45-49	30.9	44.8	51.1	55.5	51.9	58.0	59.7	63.4	67.3
50-54	28.6	34.5	42.4	47.9	52.0	56.1	57.2	60.8	64.8
55-59	22.4	29.8	40.9	43.4	48.3	53.2	57.9	60.8	64.7
60-64	24.5	28.8	37.1	39.1	43.7	53.9	59.2	63.2	66.4
65-69	22.7	29.5	32.2	35.8	44.0	51.9	57.3	61.4	64.6

市場ボリューム (千人)



結果サンプル [チョコレート]

加齢効果を見ると40歳代までが需要の主体者となっている。

時代効果を見ると2005年からプラスに転じているこのあたりは海外からの高級手作りチョコが話題になり、製菓メーカー大手明治製菓(現明治)が「100%チョコレートカフェ」などをオープンさせ話題となった。「2020年には、世界のカカオ豆の生産量が需要を下回り、100万トンが不足する。チョコレートは庶民に手が届かない高価なものになる可能性がある」という噂が広がった影響と推察される。

世代は1960年代1970年代が中心となっている。時代効果との関連を見ると、ちょうど彼らが30歳代時にあたり、チョコレートブームを支えたと思われる。

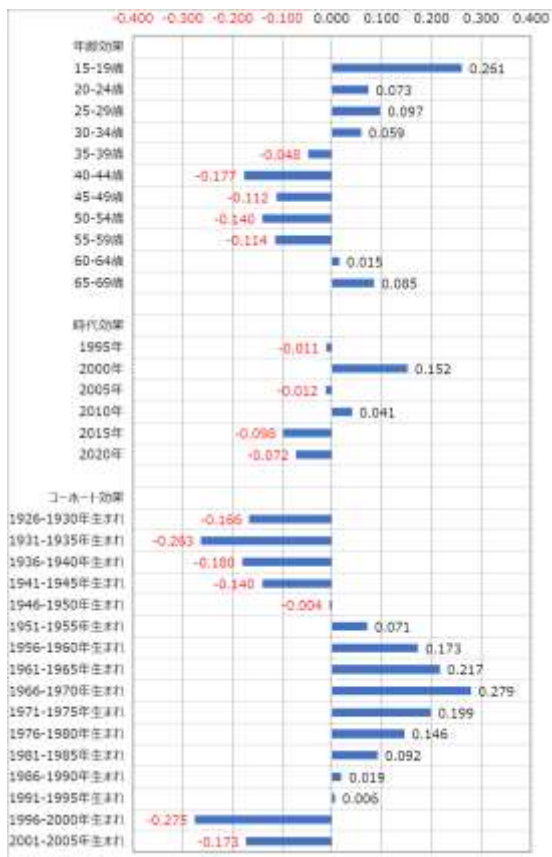
今後の需要は加齢効果の影響で若年層の需要が下支えになるものの、コアホートと時代効果の要因を考えると、グラフ推移をみるわかる通り現在最大需要の40代後半はシュリンク傾向となり、世代を軸に捉えてゆく必要があると考えられる。加えて時代に即した需要喚起も重要である。

※コメントは提供されません

結果サンプル [カレーライス・ハヤシライス]

好きな食べもの (JNNデータバンク)

コーホート分析 [カレーライス、ハヤシライス]



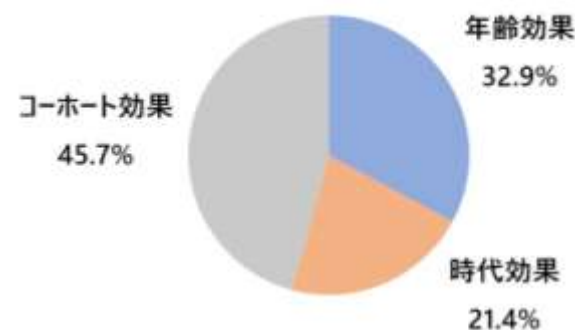
年齢効果	
15-19歳	0.261
20-24歳	0.073
25-29歳	0.097
30-34歳	0.059
35-39歳	-0.048
40-44歳	-0.177
45-49歳	-0.112
50-54歳	-0.140
55-59歳	-0.114
60-64歳	0.015
65-69歳	0.085

時代効果	
1995年	-0.011
2000年	0.152
2005年	-0.012
2010年	0.041
2015年	-0.098
2020年	-0.072

コーホート効果	
1926-1930年生まれ	-0.166
1931-1935年生まれ	-0.263
1936-1940年生まれ	-0.180
1941-1945年生まれ	-0.140
1946-1950年生まれ	-0.004
1951-1955年生まれ	0.071
1956-1960年生まれ	0.173
1961-1965年生まれ	0.217
1966-1970年生まれ	0.279
1971-1975年生まれ	0.199
1976-1980年生まれ	0.146
1981-1985年生まれ	0.092
1986-1990年生まれ	0.019
1991-1995年生まれ	0.006
1996-2000年生まれ	-0.275
2001-2005年生まれ	-0.173

要因ウエイト

要因	標準偏差	構成比
年齢効果	0.125	32.9%
時代効果	0.081	21.4%
コーホート効果	0.174	45.7%
合計	0.381	100.0%



結果サンプル [カレーライス・ハヤシライス]

年齢・体験効果分析

【カレーライス、ハヤシライス】

総平均

	推定値	+2σ	-2σ
総平均	0.06	0.15	-0.03

年齢効果

年齢	推定値	+2σ	-2σ	
1	15-19	0.35	0.43	0.26
2	20-24	0.10	0.18	0.02
3	25-29	0.09	0.17	0.01
4	30-34	0.06	0.13	-0.02
5	35-39	-0.05	0.01	-0.12
6	40-44	-0.15	-0.09	-0.22
7	45-49	-0.06	0.01	-0.13
8	50-54	-0.07	0.00	-0.14
9	55-59	-0.14	-0.06	-0.21
10	60-64	-0.07	0.00	-0.15
11	65-69	-0.06	0.02	-0.13

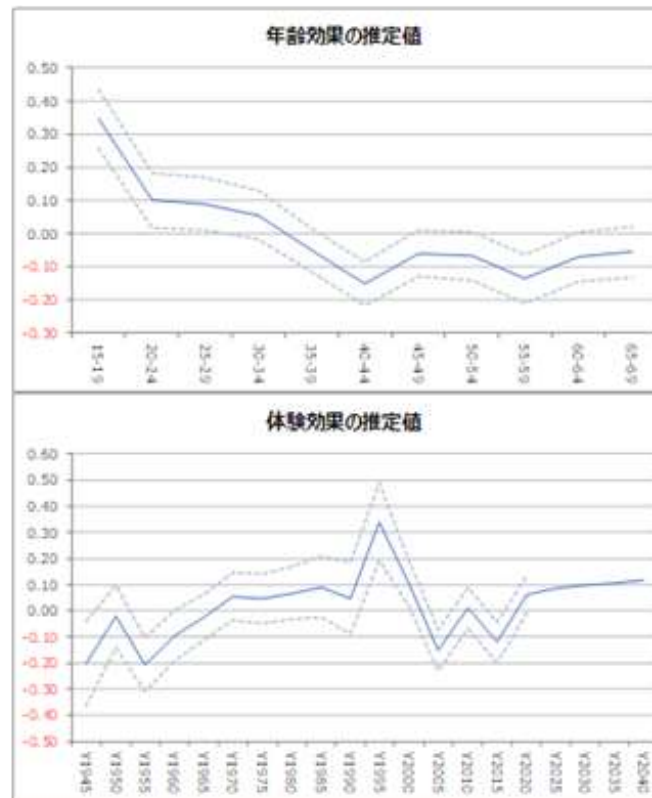
(A) 年齢効果幅
(B) 影響を受ける最低年齢
(C) 表での最低年齢効果の年齢

5歳
0歳
15歳

体験効果

年代	推定値	+2σ	-2σ	
1	Y1915	-0.20	-0.04	-0.37
2	Y1950	-0.02	0.10	-0.14
3	Y1955	-0.21	-0.10	-0.31
4	Y1960	-0.09	0.00	-0.19
5	Y1965	-0.02	0.06	-0.11
6	Y1970	0.05	0.14	-0.04
7	Y1975	0.05	0.14	-0.05
8	Y1980	0.07	0.17	-0.03
9	Y1985	0.09	0.21	-0.03
10	Y1990	0.05	0.19	-0.09
11	Y1995	0.34	0.49	0.19
12	Y2000	0.10	0.19	0.02
13	Y2005	-0.15	-0.07	-0.23
14	Y2010	0.01	0.09	-0.07
15	Y2015	-0.12	-0.04	-0.20
16	Y2020	0.06	0.14	-0.01
17	Y2025	-0.09		
18	Y2030	0.10		
19	Y2035	0.11		
20	Y2040	0.12		

- (1) 体験の影響を受ける最低年齢効果は 0-1 歳
- (2) 体験の影響を受ける最高年齢効果は 65-69 歳
- (3) 体験の効果は 50-54 年以降持続する



結果サンプル [カレーライス・ハヤシライス]

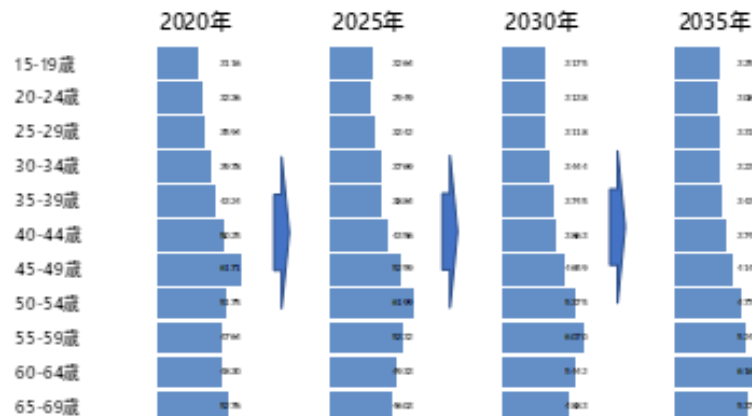
年齢体験効果分析推計値より将来需要データシート

【カレーライス、ハヤシライス】 期別： 経済社会庁
市場ボリューム (千人)

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
15-19歳	6019	5538	4500	4240	3214	3116	3264	2175	2256
20-24歳	6716	5632	4625	4092	3504	3326	2649	2138	2080
25-29歳	6628	6778	5694	4754	3667	3594	3342	2198	2137
30-34歳	3510	6126	6419	5470	4930	3976	3769	2444	2220
35-39歳	5116	5383	3547	6408	5174	4124	3684	2745	2407
40-44歳	4658	5069	3268	5430	3629	5025	4556	2863	2741
45-49歳	3768	5424	4660	5185	3602	4071	3259	4629	4647
50-54歳	4552	6071	3268	4637	4644	5175	4999	3175	4778
55-59歳	4903	4905	3673	5468	4621	4768	3232	6070	5247
60-64歳	3742	4606	4029	6006	5217	4920	4613	5442	6068
65-69歳	2161	4226	4653	5177	6887	5236	4602	4863	5271
計	58227	69494	52225	56725	52891	46569	47989	46402	45772

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
15-19歳	70.3	73.0	68.3	63.0	53.2	53.2	55.2	61.0	63.0
20-24歳	68.0	66.0	66.7	61.3	57.3	53.9	51.2	57.4	59.7
25-29歳	73.7	69.1	66.7	64.3	59.2	58.2	53.5	53.3	59.7
30-34歳	68.0	72.0	65.7	65.0	58.3	60.8	61.0	55.0	55.1
35-39歳	65.6	65.4	63.2	64.9	61.3	58.6	59.8	60.7	55.0
40-44歳	55.0	64.9	61.7	61.6	57.3	59.9	59.3	59.3	60.3
45-49歳	54.3	60.7	60.3	64.1	63.9	63.3	63.3	63.8	64.1
50-54歳	59.0	63.3	57.7	60.2	61.0	59.6	64.0	65.1	66.0
55-59歳	54.0	56.2	55.3	62.8	58.2	60.3	62.4	63.6	64.4
60-64歳	50.0	59.4	57.5	59.5	62.2	65.0	63.3	65.3	65.9
65-69歳	52.5	59.4	54.3	61.8	63.4	64.0	64.3	65.4	66.3

市場ボリューム (千人)



ご提供内容・費用

■ JNNデータバンク カテゴリー編

1995年から2020年における5年毎の6時点25年間の時系列データを用いて
コーホート分析、年齢・体験効果分析の結果2025年、2030年、2035年予測データを提供。

提供内容 くだん食べたり・使ったりしているもの 40カテゴリー
くだん飲むもの 32カテゴリー
好きな食べ物 37カテゴリー
合計109カテゴリー

提供物 年代別時系列データ 一式
コーホート分析 データ 一式
年齢・体験効果分析データ 一式

価格 380,000円(税別)

■ 総合嗜好調査 カテゴリー編

2005年から2020年における5年毎の4時点 15年間の時系列データを用いて
コーホート分析、年齢・体験効果分析の結果2025年、2030年、2035年予測データを提供。

提供内容 好きな料理 9カテゴリー
好きなごはんもの・めん類・パンなど 37カテゴリー
好きな料理・おかず 60カテゴリー
好きな冷凍食品 24カテゴリー
合計130カテゴリー

提供物 年代別時系列データ 一式
コーホート分析 データ 一式
年齢・体験効果分析データ 一式

価格 380,000円(税別)

■ セット価格 JNNデータバンク編、総合嗜好調査編を同時購入の場合 価格 700,000円(税別)

■ 特別分析 その他カテゴリーについても個別に解析を受注しています。是非お問い合わせください。